

トップメッセージ



本年4月に発生いたしました熊本地震により被災されました皆さまに対して、心からお見舞い申し上げます。被災地の1日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

さて、日ごろより三井住友海上あいおい生命をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。
当社は今年、創立5周年、損保系生保設立から20周年目を迎えました。これもひとえに平素より格別のご支援を賜りました多くの皆さまのおかげと深く感謝申し上げます。

2015年度を振り返って

2015年度の我が国の経済は、企業収益や雇用・所得環境に改善がみられたものの、中国をはじめとする新興国の景気減速や原油価格の下落の影響等により、景気回復に遅れが見られました。

また、金融情勢については、2016年1月29日の日銀金融政策決定会合にて、マイナス金利政策が導入され、国内長期金利は大幅に低下しました。

生命保険業界におきましては、少子高齢化の進行やライフスタイルの変化によって、生命保険に対するお客様のニーズや販売チャネルが多様化している中、よりきめ細かな商品・サービスの提供等、一層の企業努力が求められています。

2014年にスタートした中期経営計画「Next Challenge 2017」ではさまざまな施策を確実に実施し、「業界トップ水準の品質と飛躍的な成長の実現」に向けて取り組みを進めてまいりました。

2015年度は、品質面では、募集プロセスの改革として申込手続きをタブレット端末等で完結できる「生保かんたんモード」を展開し、お客さまの利便性向上と業務効率化を推進したほか、改正保険業法の2016年5月の全面施行に向けて保険募集の基本的ルールの創設について代理店・募集人研修を行うなど、お客さま対応品質を確実に向上させました。

また、成長面では、営業拠点の拡充および要員の増員により営業力強化を図り、法人マーケット開拓強化のため、定期保険等の保険料率見直しを中心とする商品改定を実施しました。

このような取り組みにより、当社は引き続き順調に業績を伸ばし、個人保険および個人年金保険の新契約高は2兆4,233億円となり、保有契約高は前年度末比3.1%増加し、22兆5,760億円となりました。生命保険会社における保険金等支払余力を表すソルベンシー・マージン比率は1,598.4%と、引き続き高い健全性を維持しています。

中期経営計画「Next Challenge 2017」はステージ2へ

当社は、中期経営計画「Next Challenge 2017」の確実な実行に向けて、2016年度～2017年度を期間とする中期経営計画「Next Challenge 2017 ステージ2」を策定しました。

品質面では、引き続き生保かんたんモードの推進や、安心お届け日数（証券作成日数および保険金・給付金等の支払日数）等について高い目標をもって取り組み、お客さま目線ですべての業務プロセスにおいて最高品質を実現していきます。

成長面では、多様なお客さまニーズに対応した商品を迅速に開発・提供していきます。2016年5月には保険料払込免除特約の保障範囲の拡充等を図った新医療保険A^{エス}プラスを発売しました。

また、ERM経営の高度化と経営基盤の強化により企業価値の持続的拡大を図っていきます。

こうした取り組みを着実に積み重ねることにより、MS&ADインシュアランスグループの成長領域を担う中核生保会社として、お客さまに安心と満足をお届けし、お客さま・社会から信頼される企業を目指していきます。

今後とも、当社を引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2016年7月

三井住友海上あいおい生命保険株式会社 取締役社長

丹保人重